



## 1992年度アサヒ・フェローシップ（朝日国際奨励金）募集要項

アサヒ・フェローシップ（朝日国際奨励金）の募集を下記の要領で行います。同制度は1988年、東京朝日創刊百年を記念し、創設されたものです。

### 1. 目的

外国の将来性ある学者、芸術家、ジャーナリストらに日本国内での研究活動の機会を与えることで日本理解を深めてもらい、併せて人と人との交流により国際間の協調に寄与する。

### 2. 応募資格

- (1)外国国籍の個人（日本の永住権を持つ外国人は除く）。
- (2)大卒、またはそれにふさわしい経験を持つもの。学術研究分野は、Ph.D. 取得者もしくはそれに相当する学識を持つものが望ましい。
- (3)学者、芸術家、ジャーナリストなどで日本に関する研究、学習などの活動を行おうとし、日本滞在の必要性がある者。自国でも同程度の活動が可能なる者は受け付けない。
- (4)日本に現在長期滞在中の者、および今後長期にわたり居住する見込みのある者は受け付けない。留学、研修などで、来日がすでに決定している者も受け付けない。
- (5)日常生活に事欠かない程度の日本語を話せることが望ましい。
- (6)日本に滞在して活動を行う上で支障のない健康状態であること。
- (7)特に年齢に制限は設けないが、滞日活動終了後、自国においてその経験を生かし発展的活動が出来る者、将来性を持つ者が望ましい。

### 3. 採用者数

3, 4人を予定している。

### 4. 滞日期間

原則として当年9月から1年間とし、滞日期間の短

縮および1年以上の滞日はいかなる理由があっても認めない。

### 5. 支給内容

- (1)総額2000万円とし、採用者には研究内容に応じて選考委員会が適切な額を決定、支給する。
- (2)来日、離日時の旅費は航空券（居住地～東京間のエコノミークラス）を支給する。家族、同伴者などには支給されない。
- (3)滞日中の保険料金、税金は朝日新聞社が負担する。

### 6. 応募方法

- (1)募集は毎年1回行方。応募締切りは1992年については3月31日到着分までとする。
- (2)希望者は所定の申請書、推薦書（コピーしたものでよい）を締め切りまでに本奨励金事務局へ郵送すること。申請用紙、応募要項は本事務局に郵便で請求するか、朝日新聞社の海外総局、支局で直接、受け取ること。
- (3)申請書、推薦書はいずれも日本語（黒インク）または英語（タイプに限る）で記すこと。
- (4)推薦書の記入者として、応募者の日本語能力、研究テーマに関する能力、テーマについての評価が出来る人物（指導教官、上司など）を推薦者として選び、作成を依頼すること。
- (5)申請書、推薦書など応募書類は一切返却しない。
- (6)電話による問い合わせには応じない。

### 7. 応募書類請求、申請書郵送先

〒104-11 東京都中央区築地5-3-2  
朝日新聞社文化企画局企画第二部内  
アサヒ・フェローシップ事務局  
電話 03-3545-0131 内5484  
Fax 03-3546-1894



## 第23回（1992年度）三菱財団自然科学研究助成応募要領

### 1. 助成の趣旨

最近の自然科学の進歩はめざましく、各学問分野の研究の深化はもとより、分野間の相互作用により、つぎつぎに新たな研究領域が誕生しつつあります。このような状況のもとで、本事業は、これらの基礎となる独創的、かつ先駆的研究とともに、既成の分野にとらわれず、すぐれた着想で新しい領域を開拓し、やがてその国際的発展に先導的役割を担う萌芽ともなる研究に期待して助成を行なうことを趣旨としています。

本年度は、下記の分野を重点として助成の対象と致しますが、すぐれて独創的なものはそれ以外の研究でも積極的にとりあげられます。

なお、この助成金は、研究達成のため十分に活用できるよう、その用途をとくに制限致しません。

### 2. 重点対象分野

- (1) 実験方法の開発・改良に関する研究
- (2) 工学における境界分野の基礎研究
- (3) 新しい工学的システムとデバイスの基礎研究
- (4) 宇宙・地球規模の環境に関する基礎研究
- (5) 新物質、新材料の作製と物性に関する基礎研究
- (6) 生物活性物質・生体機能物質の基礎研究
- (7) 発生系における分化と遺伝子発現の制御に関する研究
- (8) 遺伝と環境の両因に主眼をおいた諸種疾患の本態に関する基礎研究
- (9) 個体、臓器および組織各レベルにおける機能要因

に関する総合的研究

(4) 脳・神経組織の機能的構築に関する基礎研究

### 3. 助成の金額と期間

#### イ. 金額

総額約2億8千万円を予定、1件2千万円以内  
(本年度は30件程度を目標とします。)

#### ロ. 期間

1年を原則とします。

### 4. 応募方法

当財団所定の申込書に必要事項をご記入のうえ、正1通、副5通（コピー）を当財団宛ご送付願います。申込書の右上欄に研究題目のコード番号（別添コード表ご参照）を、かつ前記2.の重点対象分野10項目のうち該当する番号があればこれを（該当するものが無い場合は(1)を）記入して下さい。なお、申込受付確認のため、返信用葉書（宛先：申請者住所並びに名称）を同封して下さい。財団事務局にて受付日・受付番号を記入の上ご返送致します。

申込書用紙はご請求あり次第お送りいたします。返信用封筒（切手175円貼付）を同封の上、お申込み下さい。またコピーした用紙をご使用いただいても結構です。

### 5. 応募締切日

1992年3月2日（月）必着（極力早めにお出し下さい。）

### 6. 申込用紙 日本気象学会事務局にあります。



## 第16回レーザーレーダー国際会議 (16ILRC) のお知らせ

主 催：国際放射会議 (IRC) ICLAS  
 共 催：フィリップス研究所, NASA, 米国気象学会  
 (AMS), 米国光学会 (OSA)  
 日 時：1992年7月20日(月)～24日(金)  
 場 所：ボストンマサチューセッツ工科大学 (MIT)  
 分 野：応用(大気, 陸域, 海洋, 汚染, 宇宙からの  
 計測, 地球規模の変化) ライダーシステムと  
 技術, 手法, 要素技術, 等.  
 発表形態：講演とポスターセッション(講演は第1著者  
 に限る)  
 発表申込：アブストラクト(2または4ページ, 図表を  
 含む)  
 申込締切：1992年3月31日

送 り 先：ILRC16

c/o Dr. Gilbert Davidson, Photo Metrics,  
 Inc. 4 Arrow Drive, Woburn MA 01801-  
 2067 USA.

Tel. 1-617-935-6500

Fax. 1-617-935-0747

国内問い合わせ先：

〒260 千葉県弥生町 1-33

千葉大学映像隔測研究センター

竹内 延夫

Tel. 0472-51-1111 (内2987)

Fax. 0472-53-0272

編集後記：現在、私の所属している東京管区気象台調査課では、メソ $\alpha$ スケールの現象の調査を盛んに行っています。具体的には、関東地方特有の北東気流による悪天や、日本海低気圧から伸びる寒冷前線が通過する際の気象変化の特徴などの調査・研究です。折しも、気象庁予報課においても、昨年度から「メソ量的予報技術の確立について」と題して、5年計画でメソ気象現象のモデル化(メソ天気系モデルの作成)を鋭意行っているところ です。

このようにメソスケール現象の調査・研究に重点を置く背景には、よりきめ細かな予報に対する社会的なニーズが高まってきていること、技術的には、数値予報の精度・分解能の向上(水平分解能に関しては、現在 40 km,

今年から 30 km を予定し、将来的には 10 km を計画している)、気象衛星、気象レーダー、そして世界一の密度を誇るアメダスの観測データなどが磁気媒体で提供され、解析が稠密にしかも容易に行えるようになったことがあげられます。

昨年一年間の「天気」の目次を眺めてみるとやはり、メソ気象に関する論文、シンポジウム、行事等が毎月のように誌面を賑わせており、この傾向は今後ますます強まるのではないかと考えられます。皆さんもぜひともメソ気象に興味を持っていただき、できれば調査・研究され、積極的に投稿していただければと思います。

(中三川 浩)